

マリオ・モンティ新内閣閣僚名簿(11年11月16日発足)

氏名	(イタリア語表記)	担当	略歴
マリオ・モンティ	Mario Monti	首相および経済・財務省(代理兼務)	1994年からボッコーニ大学長を務める。過去には約10年間、欧州委員会の委員も務めた経済学者。
ジュリオ・テルツィ・ディ・サンタアガタ	Giulio Terzi di Sant’Agata	外務省	1973年に外交官となり、前職は米国大使。イスラエル大使や国連のイタリア代表なども歴任。
アンナ・マリア・カンチェッリエリ	Anna Maria Cancellieri	内務省	1972年に内務省入省。2009年に同省を辞め、ボローニャ市やバルマ市の特別委員などを歴任。
パオラ・セベリーノ	Paola Severino	法務省	初の女性法務相。刑法や犯罪学が専門。イタリアでも有名な刑事専門弁護士の1人。
ジャンパオロ・ディ・パオラ	Giampaolo Di Paola	国防省	前職はNATO軍事委員会委員長で、リビアへの軍事作戦にも従事。
コッラード・パッセラ	Corrado Passera	経済開発省およびインフラ・交通省(代理兼務)	1980年にコンサル会社勤務後、金融、出版などの業界に勤務。前職はインターザ・サンパオロ銀行CEO。
マリオ・カターニア	Mario Catania	農林政策省	前職は農林政策省EU・国際政策部長。EUにおける農業政策分野のイタリア代表として長いキャリアを持つ。
コッラード・クリーニ	Corrado Clini	環境・国土・海洋保全省	1990年から環境省の総局長を務め、前職はトリエステにあるサイエンスパークのトップも務めた。
エルサ・フォルネロ	Elsa Fornero	労働・社会政策省	前職はトリノ大学教授(経済学専攻)で、CeRP(年金福祉政策研究センター)コーディネーター。
フランチェスコ・プロフーモ	Francesco Profumo	教育・大学・研究省	エンジニアで前職は国立研究会議(CNR)会長、また2005年からトリノ工科大学長も務めた。
ロレンツォ・オルナーギ	Lorenzo Ornaghi	文化省	2002年からミラノ・カトリック大学長。
レナート・バルドゥッツィ	Renato Balduzzi	保健省	前職はミラノ・カトリック大学教授で、保健・衛生に関する研究支援機関のトップなどを務めた。
(無任所大臣)			
エンツォ・モアベロ・ミラネージ	Enzo Moavero Milanesi	欧州担当相	前職は欧州裁判所裁判官で弁護士。
ピエロ・ニューディ	Piero Gnudi	観光・スポーツ相	前エネル(イタリア大手電力会社)会長で、イタリア主要企業の重役を歴任。
ファブリツィオ・バルカ	Fabrizio Barca	領土統合相	前職は経済・財務省局長。過去にはOECDの領土政策委員も務めた経済学者。
ピエロ・ジャルダ	Piero Giarda	議会関係相	過去には旧国庫省の政務次官を務めたこともあり、前職はカトリック大学通貨分析研究所責任者。
アンドレア・リッカルディ	Andrea Riccardi	国際協力・統合相	聖エディージオ共同体の創設者。

(出所)各種報道、各省発表資料などを基に作成